

明日へつなぐ 確かな学び 未来を拓く教職センター

教職センター長 吉岡 日三雄



全国的な教員採用試験志望者の減少や倍率の低下などに伴い、東京都をはじめ、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市では、意欲や能力の高い人材を確保するために、今年度から新たに教員採用試験の早期化や複線化が実施され、大学3年生から特別選考枠を新設し、受験できるようになりました。また、学内においても教職課程履修者の減少や、免許は取得するものの、教員採用試験を受験しない学生が増えている現状があります。一方、教職課程の充実を目指して本学においても教職課程自己点検評価が実施され、本学の教職課程の取り組みの現状や、特色、今後の課題などが報告書としてまとめられました。

このような新たな動きや、教職課程自己点検評価に基づいた学内で抱える様々な課題に対して、教職センターとして「何ができるのか」「何をしなければならないか」を検討し、改善の方策について取り組む必要があると考えます。

教職センターは、2016年度に設立以来、教職・保育職等をめざす学生一人ひとりのニーズに応じた支援・指導に全面的に取り組み、学生の思いや願いの実現に向けて「明日をつなぐ架け橋」としての役割を果たしてきました。教員・保育士等を取り巻く現状が時々刻々変化する中で、教職センターの果たす役割や存在意義を常に問い直し、学生に対して教職センターの魅力を発信していく必要があります。その上で、対策講座などを通して教職センターが掲げる目標に向けて確かな学びを保障し、明日への希望をもって自分自身の未来を切り拓いていけるように各種事業を柔軟に対応し、実施していくことが求められています。

学生一人ひとりの将来の自己実現のために教職センター全教職員が叡智を出し合い、広く深い愛情を注ぎ、使命感や情熱をもって全力で学生の支援・指導に取り組んでまいります。関係学科の先生方の温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 活動を開始しました(新入生オリエンテーション)

新年度になって最初の活動は、4月1日(土)の新入生オリエンテーションです。

教職・保育職が取得できる学科の学生を対象に、教職センターの概要や講座案内、昨年度の教員・保育士等就職状況、合格体験記の抜粋等の資料を用意し、教職センターについての説明を行いました。より多くの学生が積極的にセンターを活用してくれることを願っています。



中高の教職課程履修者へ説明する諏訪部先生